

**標茶町立病院経営強化プランの実施状況に
関する点検・評価報告書
(令和6年度分)**

**令和7年11月
標茶町立病院**

標茶町立病院経営強化プラン（令和6年度）実施状況 点検・評価報告

標茶町立病院経営強化プランは、令和5年度から令和9年度までの5年間を目標期間とし、経営の効率化に主眼を置き、安定した医療提供体制を確保し、良質な医療を継続して提供していくため、経営の健全化を目指すものです。本経営強化プランでは、毎年、実施状況について点検・評価を行い町民の皆さんに公表することとしています。

団 体 名		北海道 標茶町
プ ラ ン の 名 称		標茶町立病院経営強化プラン
策 定 日		令和6年3月31日
計 画 期 間		令和5年度～令和9年度
病 院 の 現 状	病 院 名	標茶町立病院
	所 在 地	北海道川上郡標茶町開運4丁目1番地
	病 床 数 病 床 機 能 区 分	一般病床60床・急性期病院
	診 療 科 目	内科、外科、婦人科、小児科、リハビリテーション科
公 立 病 院 と し て 今 後 果 た す べ き 役 割（概要）		<p>当院は、町内唯一の病院として長年にわたりへき地医療や不採算医療等の役割を担ってきている。</p> <p>町民の医療ニーズを踏まえ、現在実施している医療提供内容と後期高齢者の増加に伴って救急医療のニーズも増大することが予想されることから24時間体制による救急医療を提供していくことにより地域医療を守っていく。</p> <p>将来の医療提供内容や運営体制等についての検討は、地域住民の意向を尊重しながら検討を行う。</p>
点 検 ・ 評 価 ・ 公 表 等	点検・評価・公表の体制	<ul style="list-style-type: none"> ・点検：院内で実施 ・評価：標茶町立病院運営委員会規則（昭和38年規則第7号）に基づく標茶町立病院運営委員会での実施 ・公表：標茶町立病院ホームページで公表する。
	点検・評価・公表の時期	<ul style="list-style-type: none"> ・点検：毎年8月下旬頃 ・評価：毎年9月～10月頃 ・公表：毎年11月頃
	数値実績、点検結果・評価の内容・	別紙記載のとおり

○標茶町立病院経営強化プラン（令和6年度）の実施状況について

医療需要・環境が変化していく中、標茶町立病院が継続して安定した医療を提供していくためには、健全な事業運営が不可欠であり、令和4年3月に総務省が策定した「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に沿って本プランを策定したものであり、その実施状況の点検結果について評価するものです。

医療機能や医療の質、連携強化等に係る数値目標では、すべての項目において前年度実績を上回りましたが、目標数値に対しては、すべての項目において下回り、目標値に達していない状況です。

経営指標に係る数値目標では、収支改善に係るものの実績としては、経常収支比率は前年度実績5.8ポイント上回り目標値にも達した状況です。修正医業収支比率は前年度実績、目標値ともに下回り、目標値には達していない状況となりました。

収入確保に係るものの実績では、入院患者延べ数が前年度実績を上回り、病床利用率についても上回る状況となりましたが、目標値には達していない状況となりました。

外来患者延べ数では前年度実績、目標値ともに下回る状況となりました。

経費削減に係るものの実績としては、薬剤費の実績値としては0.7ポイント上回り、目標値でも2.1ポイント上回る状況となりました。また、医療材料費においてはほぼ横ばいの状況となりました。

経営の安定性に係るものの実績としては、看護師が1名増の状況となりましたが、それ以外について増減はない状況となっています。

経営強化プランの事業計画の実績としては、外来収入では外来患者数が目標値を下回りましたが、外来収入額は目標値に達した状況となりました。入院収入では入院患者数が目標値を下回り、入院収入額も目標値を下回る状況となりました。令和5年度との比較においては、外来収入、入院収入ともに上回る状況となりました。

医業費用においては人件費及び資材高騰により給与費及び材料費が大きく増加することとなり、令和5年度との比較では123,512千円の増加となりました。

現状では経常収支について黒字化で決算することができましたが、一般会計からの負担金・補助金の繰入金を受けている状況であることから、医業収益の増収・経費の削減を図り、経営の効率化に努める必要があると考えます。

以下、令和6年度の数値目標に対する実績、目標達成に向けた具体的な取り組みの実施状況の点検結果及び外部機関による評価の内容、収支計画の目標数値に対する実績について記載しています。

○数値目標

1. 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

(1) 医療機能に係るもの

	令和5年度 実績（参考）	令和6年度 目標 ①	令和6年度 実績 ②	差 ②－①	摘 要
救急車の受入件数	122	180	171	△9	
リハビリ件数	4,298	4,400	4,320	△80	

(2) 医療の質に係るもの

	令和5年度 実績（参考）	令和6年度 目標 ①	令和6年度 実績 ②	差 ②－①	摘 要
栄養指導	53	85	76	△9	

(3) 連携強化等に係るもの

	令和5年度 実績（参考）	令和6年度 目標 ①	令和6年度 実績 ②	差 ②－①	摘 要
紹介件数	593	700	644	△56	

(4) その他

	令和5年度 実績（参考）	令和6年度 目標 ①	令和6年度 実績 ②	差 ②－①	摘 要
健康・医療相談件数	2,577	2,800	2,660	△140	

2. 経営指標に係る数値目標

(1) 収支改善に係るもの

	令和5年度 実績（参考）	令和6年度 目標 ①	令和6年度 実績 ②	差 ②－①	摘 要
経常収支比率	100.1%	102.5%	105.9%	3.4%	
修正医業収支比率	41.8%	44.1%	40.6%	△3.5%	

(2) 収入確保に係るもの

	令和5年度 実績(参考)	令和6年度 目標 ①	令和6年度 実績 ②	差 ②-①	摘 要
入院患者延べ数	7,515	9,125	8,364	△761	
外来患者延べ数	24,312	26,400	23,657	△2,743	
病床利用率	34.2%	42.0%	38.2%	△3.8%	

(3) 経費削減に係るもの

	令和5年度 実績(参考)	令和6年度 目標 ①	令和6年度 実績 ②	差 ②-①	摘 要
薬品費	9.4%	8.0%	10.1%	2.1%	
医療材料費	2.2%	2.1%	2.2%	0.1%	

(4) 経営の安定性に係るもの

	令和5年度 実績(参考)	令和6年度 目標 ①	令和6年度 実績 ②	差 ②-①	摘 要
医師数	3	4	4	0	
看護師数	45	45	46	1	
理学療法士・ 作業療法士	4	4	4	0	
薬剤師	2	2	2	0	
臨床検査技師	2	2	2	0	
診療放射線技師	3	3	3	0	

○目標達成に向けた具体的な取り組みの実施状況

5～10ページを参照願います。

○事業計画の実施状況

11ページを参照願います。

■目標達成に向けた具体的な取り組み

項目	具体的な取組内容（計画）	実施状況の点検結果	評価所見 （標茶町立病院運営委員会の意見）
地域医療の充実に向けた役割の強化	診療科目と急性期病棟を継続 ・内科、外科、婦人科、小児科、リハビリテーション科の5科目とし、急性期病棟を継続します。	・令和6年度は、5科目・急性期病棟を継続できた。	・引き続きの対応を求める。
	地域包括ケア病棟を検討 ・人口区分やニーズを踏まえ、地域包括ケア病棟への移行を検討します。	・重傷患者割合が施設基準に達しない。 ・リハビリテーションの専門職の配置が困難 ・在宅復帰率が72.5%以上必要であり、ハードルが高い ・上記施設基準の要件を満たして維持していくことが難しいとの判断。	・引き続きの対応を求める。
	24時間体制による救急医療を継続 ・町内唯一の救急告示病院として24時間救急患者の受入を行い、町内の医療体制の充実に努めます。	・24時間体制の救急医療の提供ができた。	・引き続きの対応を求める。
	在宅医療 ・通院が困難な要介護者宅往診を継続します。 ・要介護者が退院後の患者に対し、往診の実施による在宅医療に貢献します。	・通院困難者への往診を実施した。	・引き続きの対応を求める。
	人間ドック、特定健診、予防接種などを継続 ・国保人間ドックや保育園児から高校生に至るまでの検診業務を継続実施します。	・国保人間ドックや保育園児から高校生に至るまでの検診業務を継続実施した。 ・予防接種業務を継続実施した。	・事業所単位の検診実施の拡充について、検討を求める。

<p>学校医や産業医としての役割を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医及び事業所に働く職員の健康管理を行う産業医としての役割を継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医、産業医として求められている業務を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きの対応を求める。
<p>リハビリ事業の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾患別リハビリ、通所訪問リハビリを継続実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病別リハビリ、通所訪問リハビリを継続実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きの対応を求める。
<p>認知症初期集中支援チームに認知症サポート医を派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症になっても、その人らしい生活が守られ、住み慣れた地域でより良い環境で暮らし続けられることを目的に設置される「認知症初期集中支援チーム」に認知症サポート医を派遣し、必要な支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣を継続実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きの対応を求める。
<p>町保健福祉課や介護事業所等と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治療を終えた患者が退院する場合、地域での生活が円滑に移行できるよう介護事業所や福祉施設並びにケアマネージャー等と連携します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院支援などについては、町保健福祉課や介護事業所等との連絡体制をとりながら患者の退院後の生活が円滑に進むように支援を行った。 ・平成30年度から、これらの相談や支援を包括的に一元化するために専任職員の配置を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きの対応を求める。
<p>地域包括ケア会議の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健、福祉、介護、医療に携わる関係機関、団体に組織された「地域包括ケア会議」に参加し、切れ目のないケアができるよう課題の解決に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア会議には、院長・師長・リハビリテーション技士長、医療相談係長の派遣を継続した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きの対応を求める。

項目	具体的な取組内容（計画）	実施状況の点検結果	評価所見 （標茶町立病院運営委員会の意見）
安全で 安心で きる医 療の推 進	災害に対する機能強化 ・ 町内の災害時の医療拠点としての機能が求められる自治体病院として、災害を想定した訓練や職員研修などを定期的に実施し、災害時に対する機能強化を図ります。	・ 防災訓練を2回実施し、1回目はWEB訓練として東京消防庁の動画視聴し安全装置や被害状況の把握から消防機関への通報、初期救出・救護の仕方等の流れを確認した。 また、各部署の所属長等については、院内の避難経路等の状況等の再確認を行った。 2回目は標茶消防署の 協力のもと、招集訓練、通報訓練、消火訓練、消火栓使用訓練を行い、より実践的な訓練を実施した。	・ 引き続きの対応を求める。
	医療安全・感染対策の充実 ・ 院内外での研修や講習会に参加し、医療安全や感染対策に関する職員の意識向上や人材の育成を推進するとともに、新興感染症への平時からの対策を行い、医療安全・感染対策の充実を目指します。	・ 各種研修会に積極的に参加している。また、院内においても定期的に研修会を開催し、意識向上等が図られた。	・ 引き続きの対応を求める。
	設備の改良・充実 ・ 療養、診療環境の快適性や安全性の向上を図るため、優先度や年度負担の平準化などに十分配慮しながら、設備の改良・充実に努めます。	・ 設備等の老朽及び故障による更新の際に現場要望を踏まえた機器選定をし、療養、診療環境の快適性や安全性の向上を図った。	・ 引き続きの対応を求める。

項目	具体的な取組内容（計画）	実施状況の点検結果	評価所見 （標茶町立病院運営委員会の意見）
医療・看護の質の向上の推進	<p>医師・看護師など医療スタッフの確保</p> <p>・ホームページや人材紹介システム、各種メディアの活用、基幹病院などへの情報提供を継続するとともに、医療スタッフ採用に向けた様々な活動に取り組めます。</p> <p>・採用された医療スタッフを育成するとともに、その定着に努めます。</p>	<p>・北大、札医大、旭川医大の各医局を定期的に町長、町議長、院長等が訪問し派遣医師の継続について要請してきた。</p> <p>・現状、常勤医師の確保が急がれているが関係医育大学における医局所属医師の減少などにより、常勤医師の派遣を受けることは難しい状況。</p> <p>・職員採用代行会社と契約し、人材紹介会社を通じて医師の募集を行っているが採用には至っていない。</p> <p>・月１回ではあるが、東京ふるさと会会員の紹介により当直医師の派遣をいただいている。</p> <p>・人材紹介会社を通じ当直医師の確保を行った。</p>	<p>・引き続きの対応を求める。</p>

項目	具体的な取組内容（計画）	実施状況の点検結果	評価所見 （標茶町立病院運営委員会の意見）
効率的な病院運営の推進	<p>適正な診療報酬の確保</p> <p>・診療報酬に係る各種情報の収集や職員研修の実施、返戻、査定減の縮減を図るための検討、分析などを通じて、適正な診療報酬の確保に努めます。</p>	<p>・研修会に参加するなど診療報酬改定に伴うスキルアップに努めた。</p> <p>・院内専門委員会を月１度開催し委託業者とともに情報の共有や対策に努めた。</p>	<p>・引き続きの対応を求める。</p>
	<p>病床の効果的な運用</p> <p>・将来を見据えた病床機能や病床数の見直しを実施します。</p>	<p>・病床機能や病床数は住民ニーズや人口規模に見合った適切な形とすべく検討した。</p>	<p>・引き続きの対応を求める。</p>

<p>医薬品・診療材料の購入・管理体制の強化</p> <p>・価格交渉の強化、発注方法の見直し、類似品の整理、ジェネリック医薬品の採用拡大などにより、医薬品、診療材料費の削減を推進するとともに、管理体制の運用強化に努めます。</p>	<p>・薬剤師を確保し、薬品の一層の適正管理に努めたが、薬品費の目標数値を上回る結果となった。</p> <p>・医薬品、診療材料等の購入については見積もり合わせを実施した。</p> <p>・ジェネリック医薬品の採用拡大については、後発医薬品採用検討委員会にてその方向性を確認し積極的な移行に努めた。</p>	<p>・引き続きの対応を求める。</p>
<p>医療機器の計画的な導入</p> <p>・医療機器の購入経費とその収益性を考慮しながら、計画的な導入を図るとともに、取得方法や財源等についての検討も行い、購入経費の縮減に努めます。</p>	<p>・療養、診療等に支障がないよう、老朽や故障による機器等の更新を図り、院内環境の維持に努めた。</p> <p>・取得方法についても財務規則に倣い、適正に処理し取得するよう努めた。</p>	<p>・引き続きの対応を求める。</p>
<p>未収金の発生防止と回収対策</p> <p>・診療費の未納者については、文書での催告などを実施し早期回収に努めます。</p>	<p>・文書や口頭による支払い催告の取り組みや、一括支払い困難となる未納者とは面談を実施し、債務履行確約書を作成して計画的な納入を促す取り組みを行った。</p>	<p>・引き続きの対応を求める。</p>
<p>施設・設備の計画的な修繕</p> <p>・コストや耐用年数等を考慮し、年間負担の平準化や軽減に努め、適正かつ計画的な修繕を実施します。</p>	<p>・院内環境の向上及び老朽に伴う設備更新の工事を実施した。</p> <p>(実施工事：病室空調機設置工事、事務室空調機設置工事、W i - F i 環境整備工事、浴室改修工事)</p>	<p>・引き続きの対応を求める。</p>

項目	具体的な取組内容（計画）	実施状況の点検結果	評価所見 (標茶町立病院運営委員会の意見)
医療従事者の勤務環境等の充実	<p>勤務環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇取得率の向上や時間外勤務の縮減に取り組むとともに、職員の定着に努めます。 ・医師の勤務負担軽減として、タスク・シュアリングやタスク・シフティングなどを行い勤務負担軽減に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場を目指し、互いに協力し合い調整をしながら職員個々の休暇取得を促進した。 ・医師の勤務負担軽減では宿日直への派遣医師確保に努め、負担軽減が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きの対応を求める。